

# 大願成就・身体健固を願って

## お守り制作の経緯

2019年度卒業生の「産業社会と人間」の授業において、野ざらしにされている初代出羽三山大鳥居（建設後90年以上が経ち、2017年に解体）に、再び命を吹き込めないかという思いで、出羽三山神社とのコラボ企画、粉末状にした鳥居を封入した「お守り制作～商品化」のアイデアが提案された。

2021年度卒業生のM科5人のメンバーが、金属製のお守りを実際に制作し、出羽三山神社へその思いを伝えながら試作品を持参したところ、同じクオリティーで製作するのは難しいと指摘され、神社が保有するご神木での作品を作ってはどうか、そしてそれを卒業生へ配って評価を得てみてから、商品化を考えてはどうかと逆に木製のお守りを提案され実践することになった。

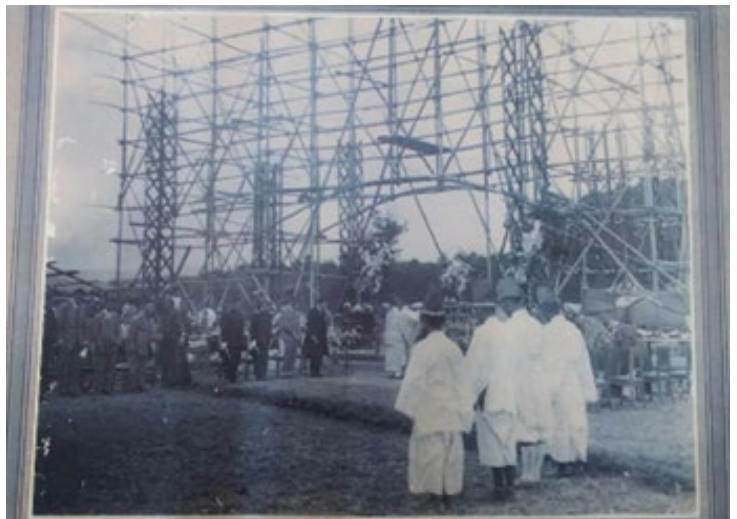
2023年1月6日（金）、制作者3M熊谷、杉山、教員本間が、完成した作品を手に、魂入れ（しょういれ）のお祓いを受け、約80個のお守りが完成した。この度、工業科の卒業生に、大願成就・身体健固の願いが込められたお守りを卒業記念として配付します。

## お守りになるまでの過程

- 6月 依頼文書の発送
  - 7月初旬 面談（神社代表と生徒・教員）今後の進め方などについて
  - 7月中旬 ご神木・解体された鳥居の欠片の調達
  - 8,9月 試作品の考案と製作
  - 10月 作品の提案（神社へ試作品を持参し許可を得る）
- 作品の量産（10月～12月）**
- 1月 作品を持参し、お祓い（大願成就・身体健固）をお願いし、そのシーンを撮影
  - 2月 動画加工、パッケージング
  - 3月 工業科卒業生への寄贈

## 大鳥居の歴史

お守りに封入してある粉は、約100年前に建設された初代出羽三山大鳥居の欠片を粉碎したもの。当時の竣工式の写真をご覧いただくと、竹製の足場や民衆の服装（白装束、ロングコートとスーツ、軍服、農作業の姿）などから当時の様子が伺える。鳥居は、魔除けや結界としての役割を持ち、古から人々を守ってきたとされる。



## 卒業生へエール

卒業おめでとうございます。コロナに翻弄されながらも、一步一步しっかりと高校生活を歩み切った皆さん、ご卒業本当におめでとうございます。課題研究で私が寄り添った2名の生徒が、先輩の想いを十分に汲んで、100年ほど前に建てられて今は野ざらしになっている鳥居の素材を使って、皆さんの大願成就・身体健固を願う「お守り制作」の企画を形になるまでやり遂げてくれました。この一年、工業科のみなさんも一人一人が課題研究に取り組んできたことでしょう。苦労した中に失敗や成功、失ったものも得たものもあったはず。すべてが素晴らしい体験です。人生においてそういった素晴らしい体験を、今後も全力で取り組む中で得られるよう、体には十分に気を付けて頑張っていたいただきたいと思います。

羽黒高等学校 教員 本間智哉

制作 機械システム学科3年 熊谷賀偉 杉山健人



制作～お祓いのシーン

←動画や写真をこちらからご覧ください！

